

授業科目名	教養講座(教育保健学)	選択	開講年次	1	単位数	2
科目区分	基本科目／教科又は教職に関する科目(共通科目)					
サブタイトル	教育としての学校保健	担当者	藤澤 邦彦			
講義概要	<p>【概要】 学童の健康・安全の実態を明らかにし、学校が抱える健康課題を見出させる。一方、すでに伝統的とも言える学校保健活動を支える学校保健安全法の概略を解説し理解させる。特に健康の権利の保障に止まらず、教育保健ともいわれるように教育を支える法としての特徴を有していることを認識させる。学校保健活動において中心的役割を果たすのは養護教諭であるが、一般教職員の担う役割も多く、学校内では教科、生徒指導等との連携、学校外では地域や家庭、医療機関等の保健・安全活動との連携も必要であることを解説する。</p> <p>【到達目標】</p> <p>学校保健の役割を理解、認識させ、それぞれの立場で教育的保健活動ができる能力を育成する。</p>					
履修条件	<p>1. 教職に関心のある者が望ましい。</p> <p>2. 指定の教科書を必ず入手し、毎授業時に持参すること。</p>					
教科書・参考書	<p>【教科書】 「学校保健ハンドブック 第5次改訂」 教員養成系大学保健協議会編 ぎょうせい</p> <p>【参考書】 1.「ヘルスプロモーション・学校保健」 内山原著 家政教育社</p> <p>2.「学校保健の動向」 日本学校保健会</p>					
授業回数	内容					
1	オリエンテーション、ミニレポート「学校保健と私」、学校保健とは(意義、位置づけ等)					
2	保健学習(学習指導要領と保健学習のあり方)					
3	保健指導(学校保健安全法による保健指導のあり方)					
4	学校における性教育(性教育観と性教育実践例)					
5	喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育(その意義とあり方)					
6	児童・生徒の健康把握と評価(定期健康診断等について)					
7	児童・生徒の発育発達(身心と体力等の発達状況)					
8	児童・生徒の健康障害とその指導(いわゆる学校病等について)					
9	精神の健康(不登校、いじめ等への対処法)					
10	障害のある児童・生徒とその指導(特別支援教育について)					
11	学校環境衛生(学校環境衛生基準等)					
12	学校安全(学校事故、災害、犯罪への対処法)					
13	応急処置(急病、けがの応急手当と心肺蘇生法について)					
14	食育の推進(学校給食と栄養教諭の役割)					
15	学校保健の学習と研究(教育保健の実践に向けて)					
評価方法	出席状況(全出席を基準とする)と、期末に行う論述式筆記試験の成績(満点を基準とする)を総合して評価する。					
評価基準	出席状況が良好であり、上記授業単元の内容についてよく理解し、適切に記述できた者は「A」、単元の内容についての理解や記述に不適切な点がある者はその程度に応じて「B」または「C」とする。出席状況が不良の者および単元の内容についての理解や記述が不十分な者は「D」、評価できない者は「E」とする。					
その他	特になし					